

次世代育成支援に関する サービス・給付の現状(1)(現物給付)

参考資料

目 次

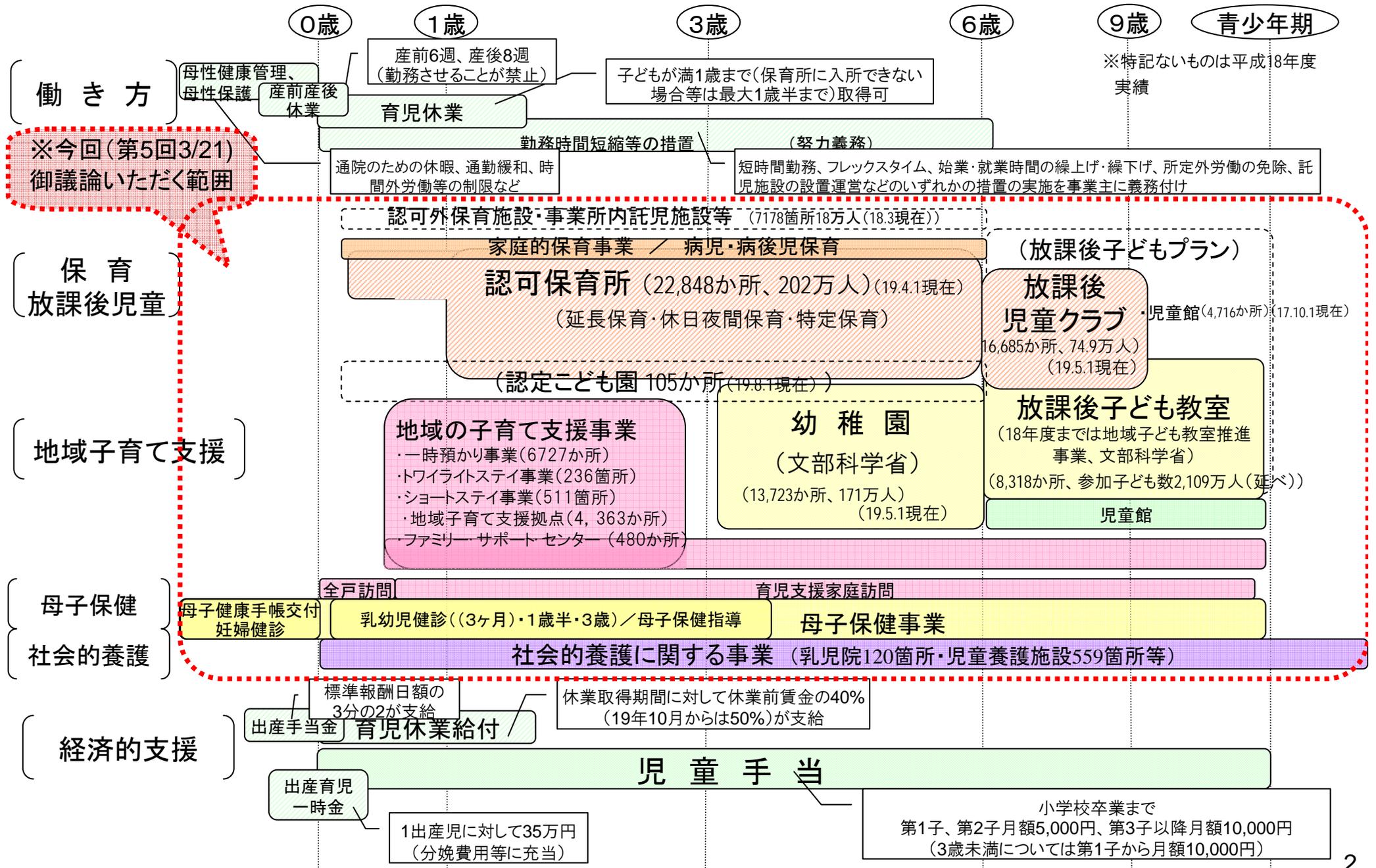
- 次世代育成支援に関する制度の現状(鳥瞰図)【P2】
 - 保育サービスの全体像(鳥瞰図)【P3】
 - 保育・放課後サービスの現状と潜在的ニーズとの差【P4】
 - 子育て支援関係事業の実施状況(現状と目標値)【P5】

 - 個別サービス関係資料
 - 《I 仕事と子育ての両立を支えるサービス・給付関係》
 - 保育所(認可保育所)関係資料
 - ・ 保育所の施設数(公私別)と利用児童数【P6】
 - ・ 待機児童に関する資料【P8・9】
 - ・ 保育所利用の仕組み【P12】
 - ・ 保育の質・保育士の処遇等に関する資料【P14～18】
 - その他の保育に関する資料
 - ・ 延長保育実施状況(都道府県別)【P19】
 - ・ 特定保育実施状況(都道府県別)【P21】
 - 放課後児童クラブに関する資料
 - ・ 待機児童に関する資料【P22】
 - ・ 放課後児童クラブの現状(規模・設置場所等)【P25】
 - 《II すべての子どもの健やかな育成を支える給付・社会基盤》
 - 妊婦健診(公費助成実施状況(都道府県別)【P27】)
 - 一時保育(一時預かり)(実施状況(都道府県別)【P28】)
 - 地域子育て支援拠点(都道府県別実施状況・運営事例等)【P29～31】
 - ファミリー・サポート・センター事業(実施状況(都道府県別))【P32】
- ・ 3歳未満児における保育サービス利用率(都道府県別)【P7】
 - ・ 「保育に欠ける」の判断基準に関する資料【P10・11】
 - ・ 費用徴収基準額【P13】

 - ・ 休日保育実施状況(都道府県別)【P20】

 - ・ サービス利用率・実施割合(都道府県別)【P23・24】
 - ・ 放課後児童クラブガイドライン【P26】

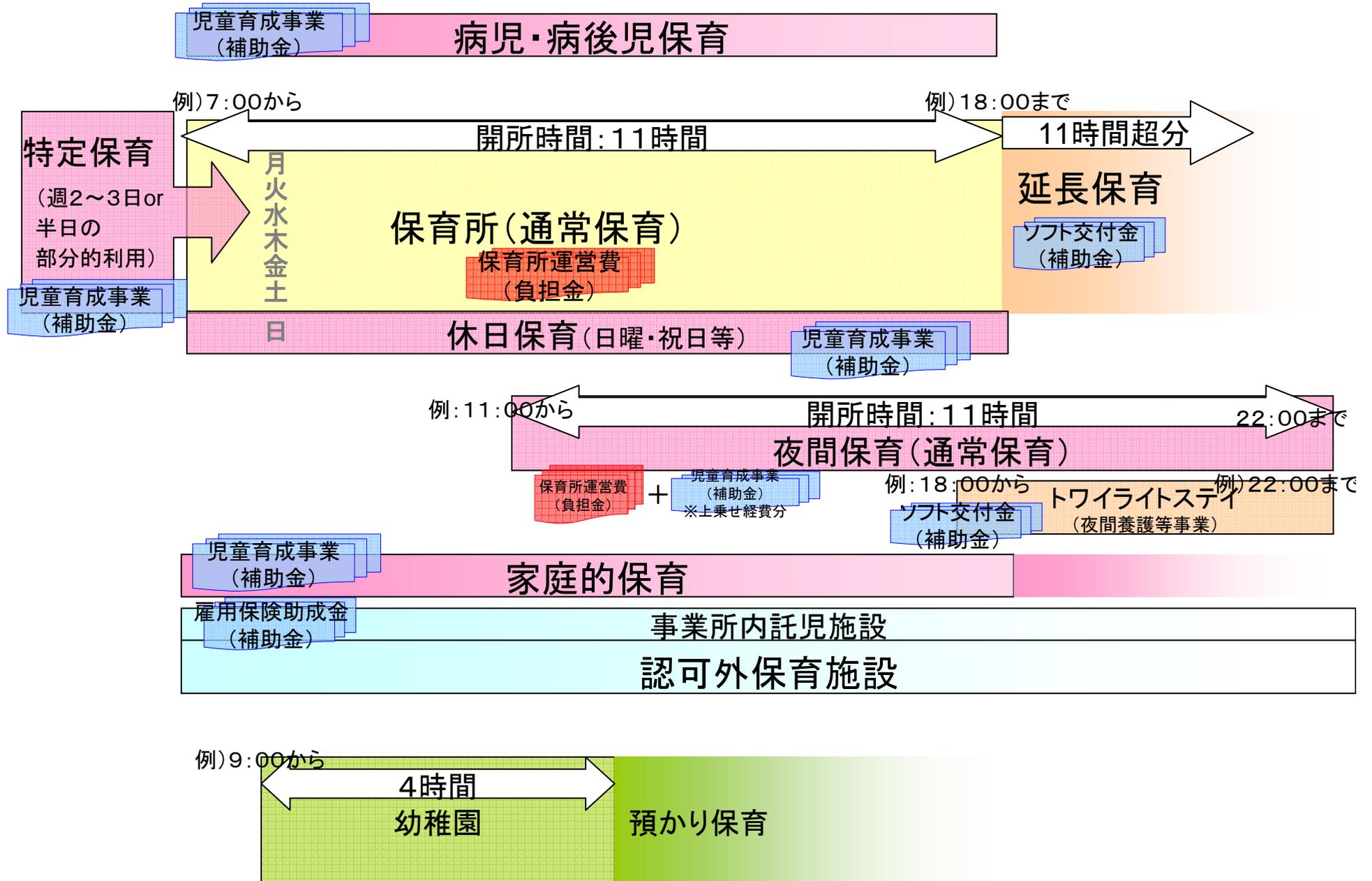
次世代育成支援に関する制度の現状



保育サービスの全体像

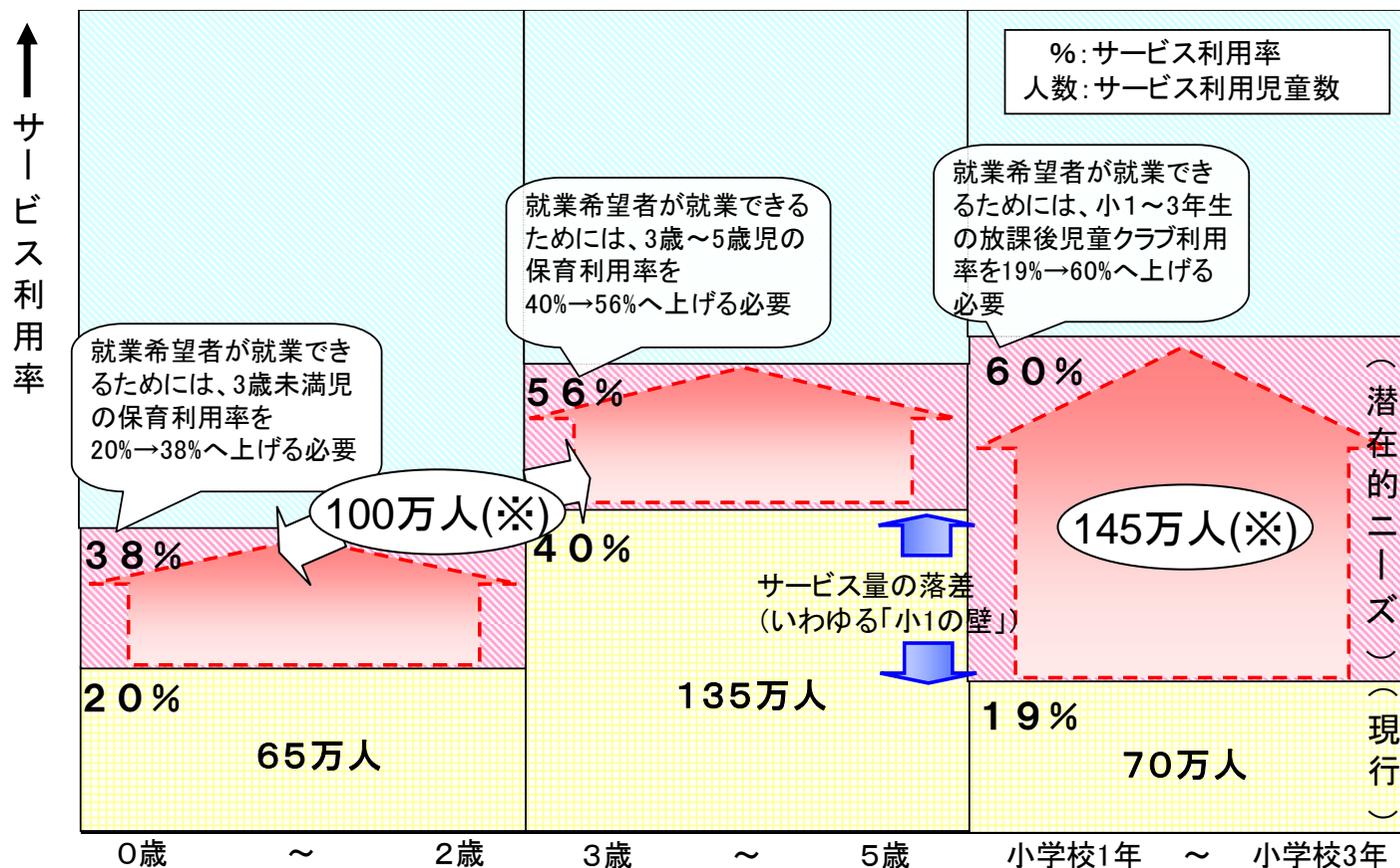
時間軸: (早朝)

(深夜) →



保育・放課後サービスの現状と潜在的ニーズとの差

- 我が国では、多くの女性が出産退職し、幼い末子を有する母の就業率は低く留まっているが、就業希望者は多い。
(0~3歳:就業率31%+就業希望者25%、4~6歳:就業率51%+就業希望者20%、7~9歳:就業率62%+就業希望者13%)
- 「新待機児童ゼロ作戦」では、これらの就業希望を実現するための抜本的なサービス基盤の拡充の必要性を提示。



※潜在的ニーズの量は、現在の児童人口にサービス利用率を乗じたものであり、将来の児童数により変動があり得る。

(参考)

児童数 (2006年)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
	108万人	105万人	109万人	112万人	115万人	117万人	118万人	118万人	119万人

【保育所、放課後児童クラブ単価(円)】

単価(事業費ベース・月額)	171,250円	101,417円	101,417円	49,417円	42,417円	42,417円	10,000円	10,000円	10,000円
単価(公費負担ベース・月額)	136,833円	67,000円	67,000円	22,000円	17,250円	17,250円	5,000円	5,000円	5,000円